

～ 徳島から発信する、農業の未来 ～

JAとくしまけん Letter

2024

9

No.3

神山地区 すだち振興部会
露地すだち日本一の産地

第36年度 通常総代会開催

組合員・利用者の皆さま

徳島県農業協同組合
代表理事組合長 橋本 浩

お詫び

日頃より、JA事業につきましては格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度、当組合元職員による美馬市内の葬祭場で業務上横領が発覚しました。

今回の不祥事は、JAへの信頼を失わせる行為であるとともに、組合員・利用者の皆さまには多大なご心配をおかけしましたことについて、衷心よりお詫び申し上げます。

今後、速やかに当組合は徹底した事実調査と原因分析を実施するとともに、関係者に対する厳正な処分を行ってまいります。

この不祥事をもとに当組合としては不祥事の再発防止に向け、綱紀の粛正・内部管理体制のより一層の強化を図り、信頼の回復のため役職員一同、誠心誠意取り組んでまいります。

今回の件につきまして重ねてお詫び申し上げますとともに、今後ともご指導・ご鞭撻を賜りますことを切にお願い申し上げます。

本件に関するお問い合わせ先

徳島県農業協同組合 リスク統括部
連絡先 088-634-2339

臨時理事会

令和6年6月23日

協議事項

- 第1号議案 不祥事案件について
- 第2号議案 役員責任調査委員会設置要領の制定について
- 第3号議案 令和5年度 被合併組合(8JA)の決算確定に係る配当代わり金について

理事会

令和6年7月22日

協議事項

- (1) 不祥事の概要(第2報)について
- (2) JA徳島県不祥事再発防止策(兼整備計画)について
- (3) ディスクロージャー誌について
- (4) 資産査定要領の一部変更について

報告事項

- (1) JA徳島県不祥事未然防止策取組状況報告について
- (2) 組織的影響のある不備事項について
- (3) 余裕金運用に関する大口信用供与等について
- (4) 余裕金の運用状況及び運用計画について
- (5) JAバンク戦略シートについて
- (6) 体制整備モニタリングについて
- (7) 令和6年6月末実績について
- (8) 類似案件等の悉皆調査について
- (9) 日本酪農協同株式会社の出資について

理事会

令和6年6月4日

協議事項

- (1) 総代会の招集及び総代会に附議すべき事項について
- (2) 行政庁提出書類について
- (3) 令和6年度不良債権処理方針について
- (4) JA徳島県リスク評価書の作成について
- (5) コンプライアンスマニュアルの一部変更について
- (6) 令和6年度会計監査人報酬(案)について
- (7) 令和5年度県常例検査の回答について
- (8) 令和7・8年度職員採用方針(案)について
- (9) 職員給与改定(案)について

報告事項

- (1) みのり監査法人による決算監査の結果報告について
- (2) 令和5年度決算監査の結果報告について
- (3) 令和5年度資産査定結果報告について
- (4) JA徳島県不祥事未然防止策取組状況報告について
- (5) 内部監査における指摘・要因分析・改善策および定着状況等について
- (6) JAバンク基本方針に基づく「経営管理資料」のうち農林中金が定める事項について
- (7) 8JAの決算状況について
- (8) 令和6年4月末実績について
- (9) 令和6年度子会社事業計画について
 - ① JAエネルギーとくしま株式会社
 - ② 株式会社アグリサポート上板
 - ③ 株式会社アグリサポート美馬

6月27日、徳島市のあわぎんホールで第36年度通常総代会を開催しました。総代数700名(定数700名、欠員0名)のうち、686名(本人出席239名、代理出席1名、書面出席446名)が出席しました。

議長に選任された板野郡の高田浩之氏による議事進行のもと、第36年度事業報告や第1年度事業計画の策定等、全6号議案について審議し、全て原案通り可決されました。

第36年度通常総代会提出議案は次の通りです。

橋本組合長挨拶



第36年度 通常総代会提出議案

- 第1号議案 第36年度事業報告及び剰余金処分案承認の件
- 第2号議案 第1年度事業計画の策定の件
- 第3号議案 営農振興計画(令和6年度～令和8年度)策定の件
- 第4号議案 定款の一部変更の件
- 第5号議案 定款附属書総代選挙規程の一部変更の件
- 第6号議案 令和6年度産米、麦、大豆その他農畜産物の売り渡しに関する政府支払金並びに国の施策に基づき支払われる各種奨励金等の系統農協事務処理要領に基づく申請、請求、受領並びにその精算、調整、返還に関する事務権限及び復代理人の選任を徳島県農業協同組合代表理事組合長に一括委任することの承認の件



議長 高田浩之氏

【報告事項】

報告1 第36年度(令和5年4月1日から令和6年3月31日まで)貸借対照表、損益計算書及び注記表の内容並びに附属明細書に対する会計監査人の監査報告及び監事の監査報告の件

報告2 JAバンク基本方針の変更

露地すだち

日本一の産地

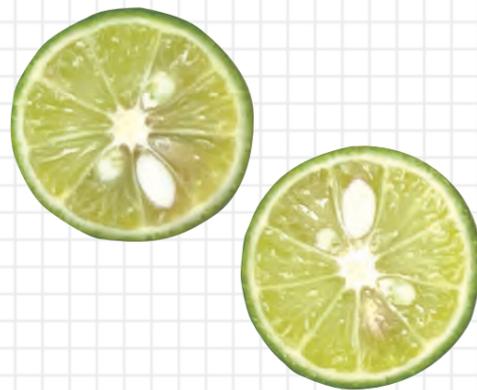
神山町のすだち振興部会が生産する露地すだちは日本一の産地として有名です。神山町のすだち栽培は1958年頃から本格的に始まり、農家所得向上を目指し、先駆者たちが商業生産を確立させました。1965年頃には経営を安定させるため、地域特性を生かし、主に露地と冷蔵すだちを中心に計画出荷ができるようになりました。

神山町全域で部会員約490戸で87haを栽培しており、今年産の青果は露地すだち100t、冷蔵すだち160t、ハウスすだち10t、目標販売金額は約3億円を計画しています。9月上旬から搾汁が始まる原料はすだち酢に加工し、業務用、家庭用として需要が高く、消費者から親しまれています。

主力品種は貯蔵に適した「神山4号」ですが、今年4月には果実の緑色が濃く、貯蔵性に優れた「勝浦1号」の木を新植し、さらなる貯蔵性の向上に取り組んでいます。部会では高品質なすだちを生産するため、毎年、剪定、摘果・摘葉講習会、着花、着果調査、圃場巡回を実施し、部会員の栽培技術向上、品質統一に努めています。



すだちの花

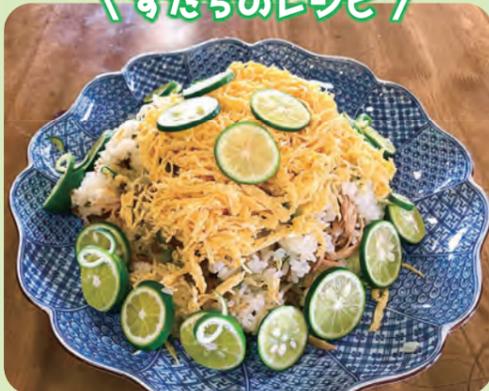


関西、関東、中京市場への出荷をはじめ、関係機関と協力し、関東、関西を中心に、県外の様々なイベントで消費宣伝活動を予定しており、消費拡大のPR活動に懸命です。
JA担当者は「今年産も部会員と一丸となり、高品質出荷に努め、多くの消費者に爽やかなすだちの香りと風味を味わってもらえるように頑張りたい」と意欲を燃やしています。



すだち摘果摘葉講習会

すだちのレシピ



すだちの選果



すだち酢

鳴門営農経済センター

梨出荷



鳴門営農経済センターでは、7月30日から8月末まで梨の共選出荷がありました。堀江梨組合は生産者43戸で「幸水」10ha、「豊水」9haを栽培しています。今年産は「幸水」180t、「豊水」180tの出荷を計画しました。

今年産は中国での火傷病発生により花粉が輸入できず、花粉の調達に苦労し、鳴門藍住農業支援センターと鳴門営農経済センター営農指導課が連携し、受粉樹を確保し、授粉作業に懸命に取り組みました。猛暑による気温高でのカメムシの大量発生や夜蛾による病害虫防除、カラス、サル、イノシシからの鳥獣被害にも苦戦する中、高品質な梨の出荷に向け、栽培に奮闘しています。

堀江梨組合の栗本喜行組合長(77)は1.9haを栽培しており、栽培歴57年の大ベテラン農家として産地をけん引しています。栗本組合長は「熱中症対策の水分補給に、瑞々しい梨をぜひお召し上がりいただきたい」と期待を込めました。



収穫に励む栗本組合長



取材の道中に有名な
コウノトリに会えました♡

JA徳島県 女性部連絡協議会設立総会

就任の挨拶をする住友会長と各地区部長の皆さま



総会の様子

7月8日、徳島市のパークウエストンで「JA徳島県女性部連絡協議会」の設立総会を開き、各地区の女性部代表者とJA役職員が出席しました。協議事項では、会長、副会長2名の役員を選出し、会長には、麻植郡地区部長の住友美佐子氏が就任しました。住友氏は「JA徳島県各地区の女性部と連携協調を図り、JA事業を通じて教養を高め、部員同士の親睦と明るく豊かな女性部になるよう皆で盛り上げていきたい」と意気込みを語りました。その他の協議として規約(案)について審議され、承認されました。

各地区から合併前の活動内容や今後の計画について報告があり、「料理教室」や「物作り体験」、「研修旅行」など多岐にわたる活動の発表がありました。合併したことで、各地区との情報共有ができ、活動の幅が増えることが期待されます。

総会后、参加者の皆さまが円卓で食事を楽しみながら、女性目線の意見でJAに対しての要望やこれまでの活動や今後の計画について話し合い、懇親会は和やかな雰囲気の中行われました。

各地区部長(敬称略)	【名西郡】 宮内 あき	【アグリあなん】 松田 聖恵	【かいふ】 山下 浩美	【板野郡】 牧本 久代
【徳島北】 望月 幸子	【あわ市】 寺井 加代子	【麻植郡】 住友 美佐子	【美馬】 松田 小百合	【みよし】 久原 道代

みよし営農経済センター 「アムスメロン」出荷

みよし営農経済センターの三加茂選果場で6月中旬から「アムスメロン」の出荷が始まり、7月上旬まで管内の産直市「みよしふれあい産直市」と県内の市場へ出荷しました。

「アムスメロン」は、他のメロンと比べて果皮の緑色が少し濃く、網目模様がやや粗いものの、熟したアムスメロンは甘味があり、香りがよく果汁が豊富です。

みよし営農経済センターメロン部会は、今年産は4戸の農家がハウス約16棟分を栽培しており、雨が多く湿度が上昇したため、割れがありましたが、単価は200円増加し例年並みの品質を保っています。総出荷量は3t、販売金額は240万円を計画しています。

生産者は「常温でしばらくおいて、食べ頃になったら冷蔵庫で冷やして食べると甘くて美味しいので、ぜひ多くの方に味わってほしい」とPRしました。



麻植女性部 西部支部

伝統の焼き肉のたれ、そうめんつゆ作り

麻植女性部西部支部は6月11日、吉野川市の麻植西部支店に30人の部員が集まり、伝統の焼き肉のたれとそうめんつゆ作りをしました。焼き肉のたれはリンゴやタマネギ、ニンニクを入れ、そうめんつゆは干しシイタケやだし昆布、かつお節をふんだんに使ってじっくり煮込みました。

完成したばかりのそうめんつゆで、美馬郡つるぎ町特産の半田そうめんを茹で、JA購買店舗で販売する“らっきょう酢”でいなり寿司やきゅうりの酢の物も作り、皆でおいしくお昼ご飯を食べました。秘伝のレシピで作るたれとつゆは絶品で、焼き肉のたれはバーベキューや炒め物、そうめんつゆは煮物のほか、そのまま冷奴にかけて食べるとおいしく、暑い夏に食欲が進む万能調味料として人気です。

住友美佐子部長は「毎年6月はこの行事を開き、今年も皆で元気に楽しく交流できて良かった」と笑顔を見せていました。



焼き肉のたれは大釜でじっくりと煮込みます



半田そうめんを茹でる
住友部長



出来立ての
そうめんつゆで、
半田そうめん
といなり寿司、
きゅうりの酢の物を
いただきました!

産地と酒蔵と消費者を繋ぐ

“阿波山田錦をもっと飲まん会”消費拡大を目指して

あわ市営農経済センターは6月15日、ブランド酒米「阿波山田錦」の消費拡大を目指し、“阿波山田錦をもっと飲まん会”という田植えと日本酒を楽しむイベントを開き、全国から酒造会社の担当者や酒米ファンの消費者約50人がツアーで参加され、大好評でした。

「阿波山田錦」の圃場で田植え体験を行い、当JAの橋本組合長も一緒に汗を流し、「産地魂を發揮し、コロナ禍前の活気を取り戻すことを期待したい」と挨拶しました。

参加者の中には、女性の杜氏（酒造家で醸造する職人の長）もあり、千葉からの参加者は「阿波山田錦が一番好きなお米でお酒もうまい」と笑顔を見せていました。

バーベキュー会場では、「阿波山田錦」の日本酒を50銘柄取り揃え、「阿波山田錦」のおにぎりも用意し、日本酒のおいしさを存分に味わいました。阿波山田錦部会の福井英利部会長は90aの圃場を夫婦で栽培しており、「普通のお米より手をかけて栽培するため、高齢の栽培農家が多く、もっと若い後継者が増えてほしい」と期待を込めました。



橋本組合長挨拶



福井部会長挨拶



橋本組合長と一緒に田植えしました

シャインマスカット出荷

あわ市営農経済センター山王集荷場では、6月23日から「シャインマスカット」の出荷が始まりました。生産者11戸で3.6haの栽培に取り組み、今年産は粒のはりが良く、大きな房が多く、品質良好でした。総出荷量は3.6t、目標販売金額は7700万円を計画しました。

30～40代の若い後継者も増え、産地としての成長を期待されています。生産者の庄村喜久さん(53)は、ハウスで80aを栽培し、温度管理や花切り、摘粒に気を配りました。庄村さんは「種がなく皮ごと食べられるので、子どもから高齢の消費者の方まで、ぜひ食べていただきたい」と期待を込めました。



デラウェア出荷

あわ市営農経済センター山王集荷場では、6月7日から7月中旬まで「デラウェア」の出荷がありました。「デラウェア」は一番出荷が早い品種として約60年の歴史があります。今年産は総出荷量13t、目標販売金額は1750万円を計画しました。

「デラウェア」は種なしの小粒で、生産者4戸で1.2haを栽培しています。生産者の板東夏弥さん(77)、由紀子さん(69)夫妻は、ハウスで80aを栽培し、夏弥さんは栽培歴57年の大ベテランとして産地をけん引しています。「デラウェア」は病気に強い品種ですが、雨で果実がさけやすい繊細な作物です。

ひと房ずつ丁寧にハサミで切って収穫し、コンテナで集荷場へ出荷したのち、生産者が共同選果で出荷箱に詰めます。今季のデラウェアは糖度が24度を超えるものもあり品質は上々で、板東さん夫妻は「味なら大粒系に決して負けておらず、甘くておいしいのでどんどん食べてほしい」とPRしました。



ひまわり農産市

2店舗でスイートコーン祭り開催



ひまわり農産市鴨島店と川島店の2店舗で6月8、9日、「スイートコーン祭り」を開き、「甘々娘」を1箱2000円で販売し、大好評でした。このイベントは、毎年朝早くから大行列ができる大人気ぶりです。

吉野川市産の「甘々娘」は、朝取りで甘くておいしいと消費者から評判です。黄色と白色のバイカラーで、西日本では徳島県が生産量1位です。糖度は18～20度で果物と同じくらいの甘さで、皮もしっかりとしており、シャキシャキとした歯ごたえと茹でてでも栄養素が逃げにくいのが特徴です。

同イベントは2店舗で6月15、16日、鴨島店のみ6月22、23日も開催しました。ご来場いただきました皆さま誠にありがとうございました。



「甘々娘」大人気！

吉野川市農林業まつり 女性部と青年部が活躍

吉野川市営農経済センターは6月16日、吉野川市との合同イベント「農林業まつり」を開き、好評でした。麻植女性部東部支部と西部支部は朝6時から大釜で約300本のスイートコーン「甘々娘」を茹でて準備し、来場者に無料配布しました。子どもから大人まで「甘くておいしい」と大好評でした。

青年部等で形成する組織「吉野川市農業後継者同志会」は、ブロッコリー、白ネギ、青ネギ、スイートコーン、にんじん、有機野菜を栽培する20～40代の若手農家が集まり、実際に使用する大型トラクターやコンバインを展示し、子どもたちの写生大会を開き、参加賞に有機野菜をプレゼントしました。同志会は月1回JAで定例会を開き、経営改善について発表する取り組みや、ブロッコリーの作付け・収穫体験などの食育活動に力を入れています。今後は、白ネギを産地化し、有機米の栽培、学校給食の地産地消を目指しています。同志会の部長、寒川雄介さんは「大型農機は機能性がよく、作業軽減に繋がるため、これからどんどん使いこなせる新規就農者が増えてほしい」と期待を込めました。

また、吉野川市の特産スイートコーン「甘々娘」の親子収穫体験を近くの圃場で3回に分けて実施し、子どもたちが一生懸命収穫し、楽しみました。

女性部無料配布



吉野川市農業後継者同志会による大型農機展示



「甘々娘」収穫体験

立川善久さん、洋子さん夫妻で本格的に就農

那賀町木頭南宇の立川善久さん(45)と洋子さん(50)夫妻は、高齢化する山間地域で栽培する、特産「木頭ゆず」の貴重な後継者です。

善久さんが「木頭ゆず」に魅力を感じて2018年に地域おこし協力隊として着任し、徳島市でコンビニの店長を務めながら車で往復4時間かけて通いで農業を続けてきました。山間部の耕作放棄地を自ら重機で整備し、水を引き、圃場を開拓してきました。昨春念願だった家を借りることができて環境が整い、息子2人が県外へ進学したこともあり、夫妻で移住し、本格的に就農しました。

今春からは洋子さんが「木頭ゆず」の加工業を行う有限会社「柚冬庵」に地域おこし協力隊として着任し、週2日は「木頭ゆず」のジャムやゼリー、ポン酢などの加工品づくりの仕事をして研鑽を積んでいます。週5日は善久さんと「木頭ゆず」70a、ケイトウ15aの栽培に取り組み、今後は菜の花を栽培予定です。山間部で棚田のため、圃場が点在していて大変ですが、洋子さんは「新しい発見や楽しいことが多く、地域の人々から元気をもらっている」と話しました。

ゆずは植栽してから果実を収穫できるまでに約5年かかるため、善久さんが新植したゆずが来年からやっと出荷できます。夫妻は「息の長い農業を目指し、地域の後継者を増やしていく活動をしていきたい。子どもたちを大学に進学させても農業で生計を立てていけると伝えていけるよう頑張りたい」と力強く目標を掲げています。



協町営農経済センター 営農指導用LINE好評



協町営農経済センターは、昨春よりミニタブレットで営農指導用のコミュニケーションアプリとして「LINE」を活用し、顧客満足度向上に努めています。同センター管内は美馬市と美馬郡つるぎ町で、ナス、ピーマン、水稲、柿、ブドウ、果樹全般を栽培する地域です。ナスとピーマンの生産者を中心に、現在は86人が登録しています。営農指導課は、2人体制で指導にあたっているため、

三宅課長が「2人で生産者に迅速な対応をするには、やり取りができるツールがあればといいと約5年前から考えており、昨年やっと導入できた」と話しました。

電話でのやり取りでは判断できないことも、LINEのトーク画面では写真のやり取りができるため、生産者が病害虫や病気の写真を撮影して送ってくれ、的確な営農指導をすることに繋がっています。台風・大雨対策などの注意喚起や営農情報の配信もしており、中山間地域ということも懸念し、生産者に災害被害もあれば教えてほしいと伝えています。黒川営農指導員は「LINEは既読がつくので生産者が見てくれたと分かるし、記録できるので、圃場巡回時や栽培講習会の資料作りにも役立っている」と話しました。

2人は「すぐに圃場に出向けない時も生産者に安心してもらえよう、これからもお客様サービス向上を目指したい」と意欲を燃やしています。



きゅうりのハウスでPRする部会員

海部地区女性部フレッシュユミズ部会考案
特産きゅうり使用
「きゅうりジャム」
販売中!



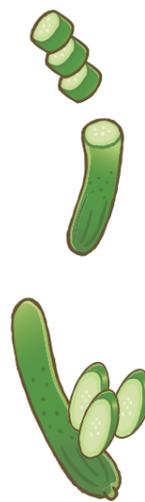
海陽町のイベントで販売しました



鮮やかな緑色のきゅうりジャムは飛やかでさっぱりとした味わい!



食パンに添えて



海陽営農経済センターの女性部フレッシュユミズ部会「かいつフレッシュユミズ95%」は、高知県の加工業者と協力し、特産きゅうりの加工品「きゅうりジャム」を開発しました。

同部会は、きゅうり農家の妻として栽培に取り組む子育て世代3人の少数で活動しており、部会名の由来は100%ではなく、95%の力で活動するという思いから名付けられました。

同センター管内の有名な「きゅうりタウン」で栽培した特産きゅうりを丸ごと入れ、砂糖を加えて製造し、加工業者の有限会社「龍馬の里」協力のもと、試行錯誤しながら今年5月に完成しました。きゅうりの風味と甘みを感じられるさわやかな味わいで、一般的なジャムとしてパンに塗るほか、ヨーグルトやアイスクリームに添えることができ、地域の子どもたちにも好評です。

パッケージにはきゅうりのヘタから果実が描かれており、きゅうり収穫の雰囲気や味を伝えるように蓋を開ける際にカチッと音が鳴り、収穫時にきゅうりカッターでヘタを切る時のような感覚になれるよう工夫しています。

部会長の数度泰葉さんは「廃棄になるきゅうりをフードロス削減のためにも有効活用できないかと思ひ、また、かいつはきゅうりの産地であるといふ県内や全国の方たちに広く知ってもらいたいため、加工業者に飛び込み加工品作りを始めた。インパクトのある商品ができたと思うので、ぜひ手にとってみてほしい」とPRしました。



「きゅうりジャム」は税込み550円。海陽町のスーパーピアカイツ、houraidoピアカイツ店、牟岐町のhouraidoボルト店、美波町の道の駅日和佐の物産館で販売中!
 ←「フレッシュ95%」のインスタグラムです。フォローお願いします!



土成
営農経済
センター

とうもろこし収穫体験

6月8日、阿波市吉野町の柿島集荷場と近隣の生産者圃場でとうもろこし収穫体験を開きました。品種は「ゴールドラッシュ」で板野郡地区管内の26組42人の親子が参加しました。

営農指導員から圃場での注意事項や収穫方法を説明した後、圃場へ移動して収穫しました。収穫を体験した児童は「大きいとうもろこしを収穫できて楽しかった。家で食べるのが楽しみ!」と笑顔で話しました。

収穫体験を終えると営農指導員がとうもろこしについてクイズを交えながら勉強会を行いました。企画した営農指導員は「収穫体験を通して、食の大切さを理解し、農家に感謝して農業に関心を持ってもらえたら嬉しい」と話しました。

勉強会の様子



板野営農経済センター

じゃがいも収穫体験

6月15日、板野町の栄コミュニティセンターと近隣の生産者圃場でじゃがいも収穫体験を開き、板野郡地区管内の12名の親子が参加しました。「きたあかり」「メイクイン」「アンデス」「シャドークイーン」の4種類のじゃがいもを収穫しました。

営農指導員から圃場での注意事項や収穫方法を説明した後、収穫に励みました。子どもたちは「大きいのがたくさんとれた!」「赤と黒のじゃがいもを初めて見た!」と笑顔で話しました。

営農指導員が勉強会を開き、クイズを交えながら楽しくじゃがいもについて学び、試食会では茹で立てほくほくのじゃがいもを味わいました。

企画した営農指導員は「収穫と勉強会、試食会を通して体験してもらうことで食と農に少しでも興味を持ってくれたら嬉しい」と話しました。



アグリあなん女性部
新野支部

シソジュース作り

アグリあなん女性部新野支部は7月10日、阿南市の新野公民館でシソジュース作り講習会を開きました。部員の久米アサエさんを講師に迎え、18名が参加しました。

シソは部員で持ち寄り、多くのシソジュースが完成しました。佐藤京子女性部長よりシソジュースの効能についての講習がありました。シソジュースにはカルシウムが多く含まれており、骨や歯を強くする効果があり、必要な栄養素でありながら吸収率が低く、日本人に不足しがちです。カルシウムの吸収率を上げるには、ビタミンD(魚介類、卵、きのこ類)と一緒に摂取すると効果的であると教わりました。次回は女性部一日研修旅行を計画しています。

みよしふれあい産直市で七夕まつり盛況

みよし営農経済センターは7月7日、センターに隣接する直売所「みよしふれあい産直市」で七夕まつりを開きました。毎年地域貢献イベントとして、産直への出荷者団体が費用を出し合い、昼間、足代、三庄、加茂児童クラブの子どもたちを招待している恒例行事で、今年も約230人で賑わいました。

各児童クラブの短冊をかけた笹を飾り、足代女性部によるお好み焼きと焼きそばの出店、三加茂支店と池田支店のLA(ライフアドバイザー)によるペットボトルボウリングなど、営農経済部門と金融共済部門の職員が一丸となってもてなしました。

カブトムシのプレゼントや愛媛のみかんジュースを蛇口から搾って飲むコーナー、高知のアイスクリンの出店もあり、子どもたちは満面の笑顔で楽しんでいました。

山西センター長は「地域の子どもたちに楽しんでもらえるよう、今後も継続していきたい」と期待を込めました。11月に大人向けイベントとして「みよしふれあい産直市」で収穫祭の開催を予定しています。



多くのお客さまにご来場いただきました!



足代女性部がお好み焼きと焼きそばを出店



スーパーボールすくい



ペットボトルボウリング



射的



カブトムシプレゼント



愛媛のみかんジュースを蛇口から搾って試飲

こども共済のご紹介



七夕の短冊に
願い事



かわはら先生と一緒にバルーンアート

麻植東部支店と麻植西部支店七夕まつり好評

ひまわり農産市鴨島店の
お肉プレゼント!



「こどもクラブ」の会員大募集!!

麻植東部支店 ☎0883-24-1137

麻植西部支店 ☎0883-42-6666

麻植東部支店と麻植西部支店は7月6日、麻植地区の「こどもクラブ」の会員を対象に七夕まつりを開き、親子で約50人が参加しました。「こどもクラブ」は次世代のJAのファンづくり、地域の子育て世代との繋がりを深めようと運営しており、12月のサントイイベントや交通安全教室も含め、今回で第29回目の開催でした。

バルーン講師のかわはらスイカ先生を招き、バルーンアートで一瞬懸命犬を作ったり、親子で七夕の短冊に願い事を書き、笹にかけてイベントを楽しみました。JA担当者からこども共済の案内や直売所「ひまわり農産市鴨島店」のお肉のプレゼントもあり、参加した子どもは「焼き肉にして食べたい」と母親にお願いしていました。

戸田支店長代理は「コロナ禍で開催できなかった期間もあり、昨年からの復活できたので、会員の皆さまに楽しんでいただけるよう、今後も職員皆で企画を出し合って活動していきたい」と意欲を燃やしています。

キャッシュカードの偽造・盗難にご注意ください!

JAバンクでは、偽造・盗難キャッシュカード犯罪への対策として、以下の取組みを行っておりますので、組合員・利用者の皆さまにお知らせいたします。

なお、具体的な対応内容など、詳しくはお取引されている各支店にお問い合わせください。

1. 生年月日など類推されやすい暗証番号の変更

暗証番号の変更は、当JAのATM(徳島県内JAのATMを含む)で暗証番号の変更手続きが可能です。また、各支店の金融窓口においても変更手続きを受け付けておりますので、お取引されている各支店にお問い合わせください。

2. 暗証番号変更時のセキュリティ強化

新たにキャッシュカードを発行し暗証番号を登録いただく際、および暗証番号を変更いただく際には、生年月日など類推されやすい暗証番号を受け付けない対応を行っています。

3. 被害発生時の緊急連絡周知

被害発生時等の緊急連絡先は、以下のとおりです。詳しくはお取引されている各支店にお問い合わせください。



■通帳・キャッシュカードの紛失・盗難時

曜日	時間	連絡先
平日	8:45~17:00	お取引されている各支店までご連絡ください
上記以外		緊急連絡先 (JAバンク・キャッシュカード紛失共同受付センター) ☎ 0120-133-446

肥料農薬等購買品 注文の際の電話番号一覧

旧板野郡	板野営農経済センター TEL:088-672-7870
	土成営農経済センター TEL:088-637-8222
旧名西郡	石井営農経済センター購買課 TEL:088-674-9769
	神山営農経済センター購買課 TEL:088-676-0004
旧アグリあなん	アグリあなん営農経済センター購買課 TEL:0884-26-1812
	阿南北部経済センター TEL:0884-22-1007
	那賀経済センター TEL:0884-62-0014
旧かいふ	海陽営農経済センター TEL:0884-73-1947
	美波経済センター TEL:0884-77-1266
	牟岐経済センター TEL:0884-72-0331
旧徳島北	鳴門営農経済センター TEL:088-689-1001
	板東経済センター TEL:088-689-1288
	大毛経済センター TEL:088-687-3111
	旧あわ市 あわ市営農経済センター購買課 TEL:0883-35-2261
旧麻植郡	吉野川営農経済センター購買課 TEL:0883-24-2324
	山川経済センター TEL:0883-42-6666
旧美馬	脇町営農経済センター TEL:0883-53-8050
	旧阿波みよし みよし営農経済センター購買課 TEL:0883-76-1255

※肥料農薬等の購買品の注文は旧JA管内の営農経済センターで受付いたしますので、よろしくお願いいたします。

重要なお知らせ

スマイルカードをスマホケースに入れますと、スマホの電磁波でカードの磁気がレジで読めなくなる事例が多発しています。スマイルカードは電子機器と接しないようにご留意ください。

JA徳島県葬祭場のご案内

海部郡	●セレモニーホールはなみち	海部郡海陽町大里字松ノ本77	☎0884-74-0875	阿波市	●天生西会館	阿波市阿波町西整理5-1	☎0883-35-8220
美馬市	●やすらぎホール脇町	美馬市脇町拜原40-209	☎0883-52-1166		●天生東会館	阿波市阿波町野神73-1	☎0883-35-8003
	●やすらぎホール美馬	美馬市美馬町中道北33-1	☎090-8977-7195		●天生八幡会館	阿波市市場町大野島字大石10	☎0883-26-6263

適用
拡大

ジャンボタニシ (スクミリンゴガイ)の防除に 石灰窒素!!

【石灰窒素のはたらき】

- 石灰窒素は水田のジャンボタニシ(スクミリンゴガイ)選別に効果が認められ、農家の登録を受けております。
- 使用する時期は、田植え前でも稲刈後でもよく、効果は同じです。都合のよいほうを選んでください。
- 石灰窒素の主成分カルシウムシアナミドは、水中でカルシウムとシアナミドに分解し、このシアナミドが殺虫効果を発揮します。

■石灰窒素の使いかた

稲刈後防除のとき(秋施用)

- ①稲刈後、水温15℃以上の時期に3~4cm湛水し、1~4日放置してください。(耕起の必要はありませんが、漏水防止のために必要であれば軽く代かきします)
- ②石灰窒素を20~30kg/10aむらなく散布し、3~4日放置してください。
- ③自然減水を待ちます。

■注意事項

- ・石灰窒素の魚毒性はB類です。散布は水田だけにしてください。
- ・降雨前の散布は避け、田面水があふれ出ないようにしてください。
- ・石灰窒素は施用後、肥料になるまで3~7日かかります。代かき後、2~3日おいてから、田植してください。

石灰窒素は置きやすい粒状品をおすすめします。

日本石灰窒素工業会

〒700-0005 徳島県千代田区神田町南3-3-4 月岡ビル119号 TEL:03(3207)5841 http://www.000appo-net.jp/sekitani/

いえ いえの保障

JA共済「いえの保障」の実績をご紹介します。

自然災害にあわれた皆さまを、**たくさんの共済金でお支払い**しています。

主な自然災害に対する建物更生共済の共済金支払状況	平成30年9月	令和元年9月	令和2年9月
平成30年6月 北海道胆振東部地震	5,211件 85億円		
平成30年7月 熊本地震	101,535件 1,189億円		
平成30年9月 台風24号	231,461件 1,173億円		
平成30年10月 新潟県中越前地震	87,659件 773億円		
令和元年9月 台風19号	91,973件 83,823億円		
令和元年10月 台風19号	82,999件 1,015億円		
令和2年7月 台風7号	12,785件 12,785億円		
令和2年9月 台風19号	69,386件 69,386億円		
令和2年12月 令和2年大雪	57,774件 248億円		
令和4年3月 福島県沖地震*	175,804件 823億円		
令和4年4月 熊本地震	94,223件 1,487億円		
令和4年6月 大規模な地震を震源とする地震	43,676件 482億円		
令和4年7月 熊本地震	101,535件 1,189億円		
令和4年9月 台風19号	91,973件 83,823億円		
令和4年10月 台風19号	82,999件 1,015億円		
令和4年12月 令和4年大雪	57,774件 248億円		

※令和4年12月現在(JA共済本部)

確かな実績があるから、多くの皆さまに選ばれています。

お支払い額	加入件数
令和4年度 建物更生共済共済金支払額 万のお支払い 満期等のお支払い 3,093億円 7,276億円	令和4年度 建物更生共済(保有契約)は 加入件数 保障共済金額 925万件 139兆1,208億円

詳しくはお近くのJA「新たな住まい」にお問い合わせください。

JA共済 2024.4 24481220291

いえ いえの保障

災害のリスクについて考えましょう。

災害がどのくらい起きているかご存じですか?

火災の発生件数	水災の発生件数	地震の発生頻度
14分55秒に1件 ^{※1} (35,222件/年)	1回以上97.6% ^{※2} (1,700箇所/町村)	約10年に1度 ^{※3} (過去約200年間で23回)

火災だけでなく、水災や地震、さまざまな自然災害が発生しています。

自然災害が起きると、**経済的負担**が重くのしかかります。

住宅ローン返済中に災害で住宅が損壊すると...

新たな住宅費(新築・新築住宅ローン)または修繕・建替費 + 住宅ローン返済 = 生活再建のために**二重の負担**が発生!

住宅ローン返済に加え、**生活再建の費用**が生じるかもしれません。

詳しくはお近くのJA「新たな住まい」にお問い合わせください。

JA共済 2024.4 24481220291

犬伏まりの一言



夏の瑞々しいナスは、調理の仕方でも旨みも自由自在！

焼きナスや麻婆ナスなど定番メニューもいいですが、夏におすすめの簡単時短！ナス餃子をご紹介します。ヘルシーで包む手間も減って食べやすいのでぜひ作ってみてください♪

犬伏まりプロフィール

鳴門市出身でモデル・タレントとして活躍中。北島町で「cafe ciel」を経営。四国放送「ゴジカル」出演中。2児の母として育児に奮闘中。

MARI Recipe

レシピテーマ

ナス

夏にヘルシー！ナス餃子

材料 (2人前)

ナス …………… 2本
合い挽き肉 …… 150g
白菜 …………… 300g
にら …………… 1本
にんにくチューブ … 小さじ1/2
生姜チューブ …… 小さじ1/2

〈調味料〉
砂糖 …… 小さじ1
醤油 …… 大さじ1/2
酒 …… 大さじ1/2
ごま油 … 小さじ1
味噌 …… 小さじ1/2
塩胡椒 … 少々



作り方

- 1 白菜、ニらはみじん切りに塩(分量外)を振りかけ10分おき、しんなりしたら軽く洗い流し水気を切る。
- 2 ボウルに、ひき肉、調味料を加えよく味をつけ①を合わせて餃子の種を作る。
- 3 ナスは1.5cm幅に輪切りにし、真ん中に切り込みを入れ、打ち粉をする。
- 4 ③の間に餃子餡を入れ挟む。
- 5 油を熱したフライパンでナス餃子を両面こんがり焼く。



Point

餃子の皮をナスで代用し、包まず簡単！ヘルシーで食べ応えのある一品に！ナスが豚肉の旨みを吸ってじゅわっとジューシーに仕上がります。ビールのお供にぜひ！

編集後記

私は2年間、旧JA板野郡の広報誌を担当していました。合併後、取材先の範囲が広がり、人生で初めて行く地域もあるので日々新鮮な気持ちで楽しく取材しております。

これからもJA徳島県の魅力をお伝えできるよう精一杯頑張りますので、どうぞよろしくお願ひいたします！

企画管理部 秘書広報課 宮本

JAとくしまけん
Letter

9月号 [No.3] 令和6年9月1日発行 (隔月発行)

発行 徳島県農業協同組合
徳島市北佐古一番町 5-12 JA会館 3F
TEL : 088-634-2337

印刷 鳥海印刷有限会社



JA徳島県HP



インスタグラム